

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト個表 (流域治水対策内容)

令和8年(2026年)6月更新

凡例

継続 : 前年度から継続

更新 : 記載内容を更新

新規 : 今年度新規追加

繼續

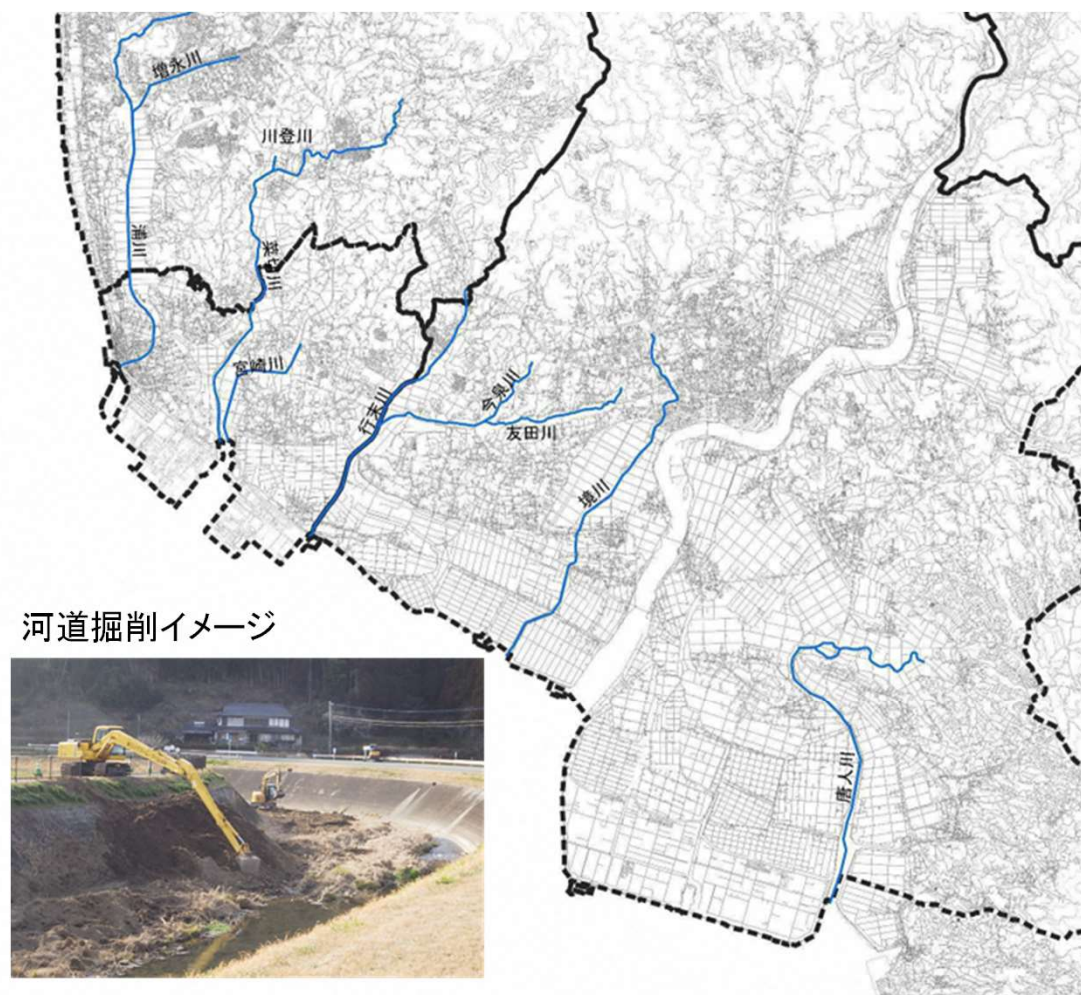
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■河道掘削、樹木伐採

熊本県では浸水被害低減のためのハード対策として、県管理河川の河道掘削及び樹木伐採を実施します。



【施工前】



【施工後】



更新

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

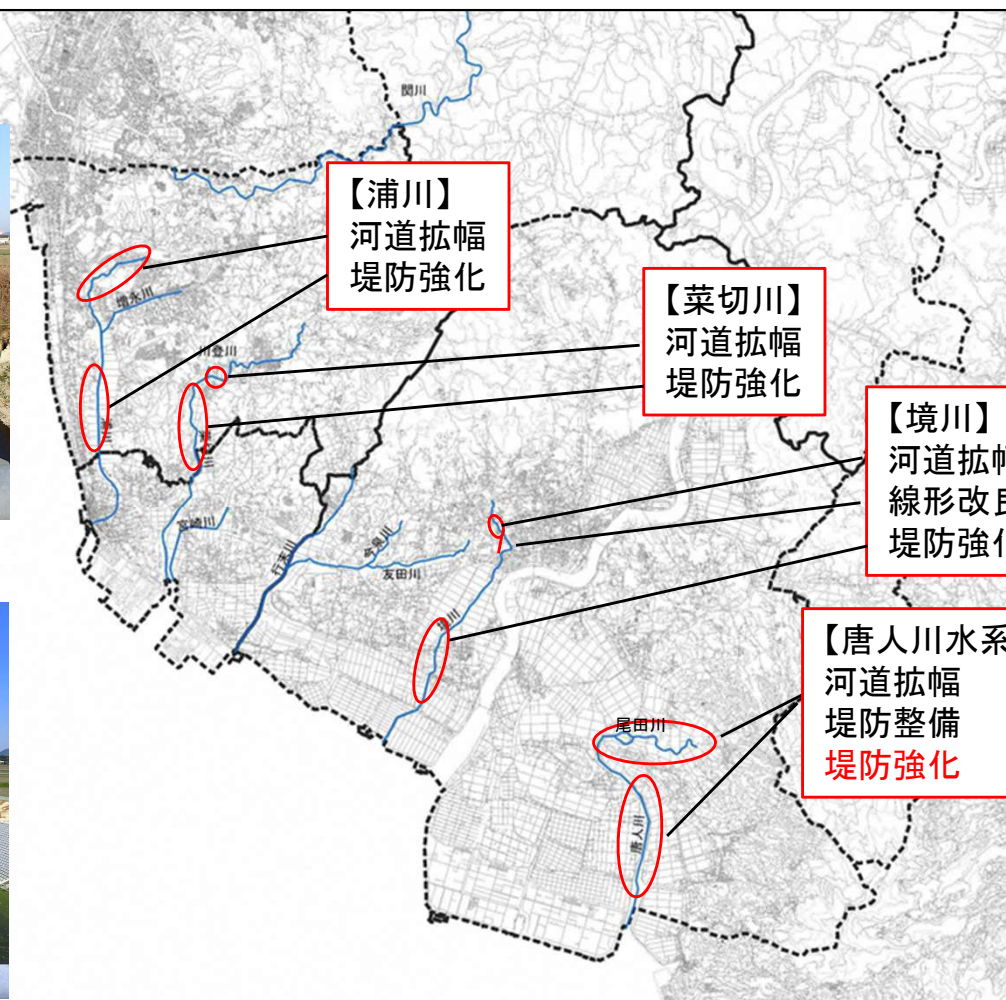
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

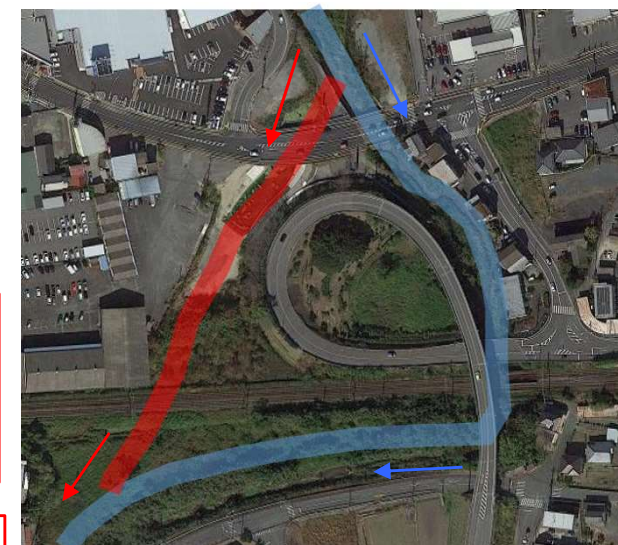
河川整備

熊本県では浸水被害低減のためのハード対策として、県管理の二級河川における河道拡幅、堤防整備、堤防強化、線形改良を実施します。

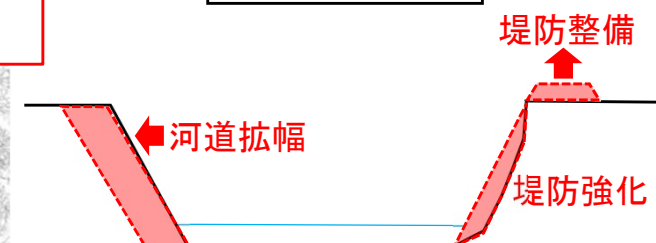
堤防強化(浦川、菜切川、境川)



線形改良(境川)



河川整備イメージ



新規

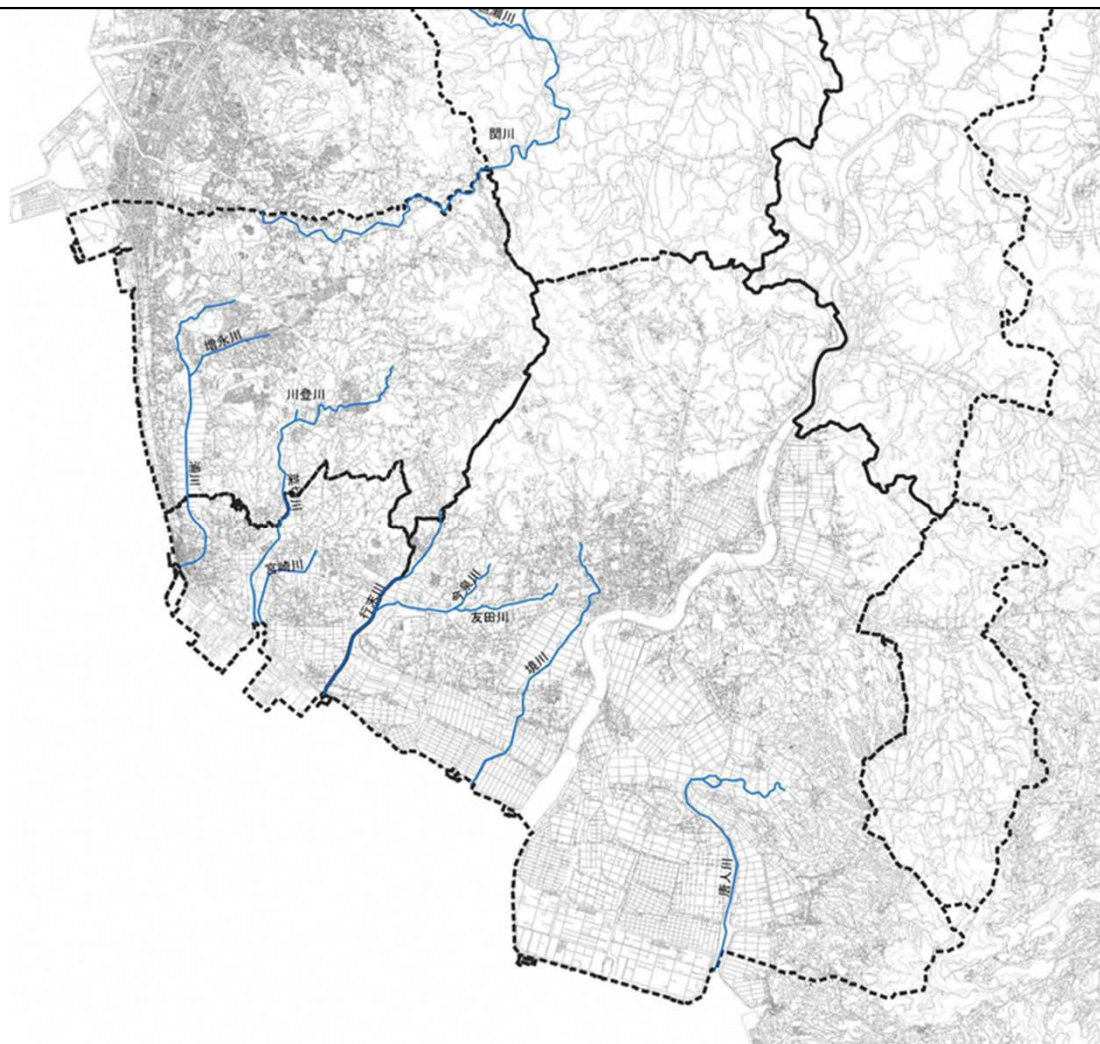
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

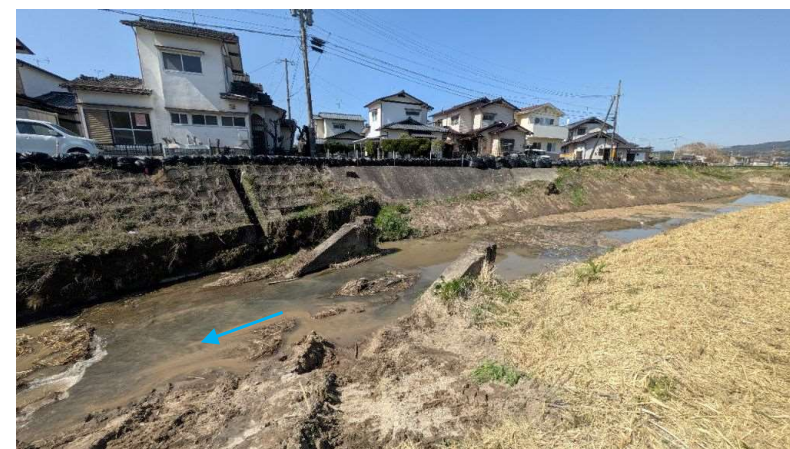
【熊本県】

■未利用固定堰の撤去

熊本県では浸水被害低減のためのハード対策として、県管理の二級河川における未利用固定堰の撤去を実施します。



【現場状況例】



更新

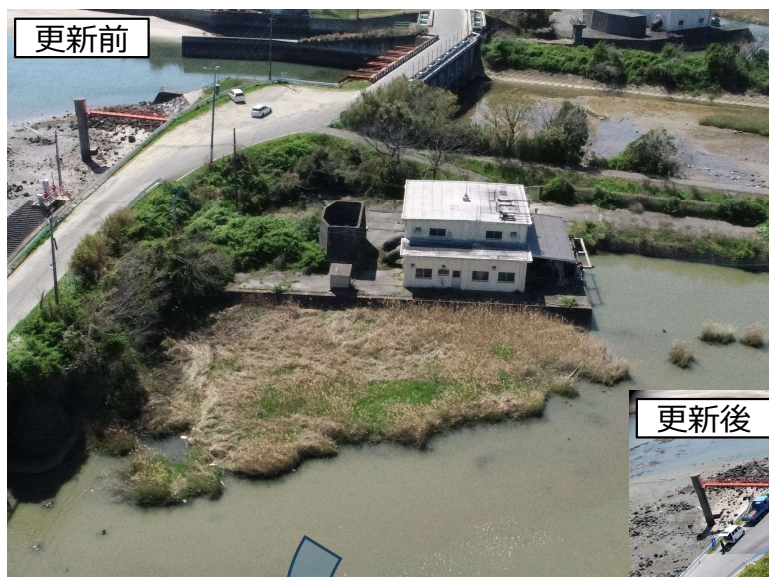
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■排水機場の更新・整備

農業農村整備事業によって整備された排水機場は、優良農地の湛水被害低減に加え、周辺住民の安全安心に寄与しています。設置後、耐用年数を大幅に経過した施設が多く、能力低下が危惧されるため、**気候変動等への対応、施設の浸水対策、運転操作の自動運転化など踏まえて、計画的な更新整備を進めます。**



更新前



更新後

排水機場の整備
(平原排水機場)



排水機場の更新状況

共和排水機場



大開排水機場

新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

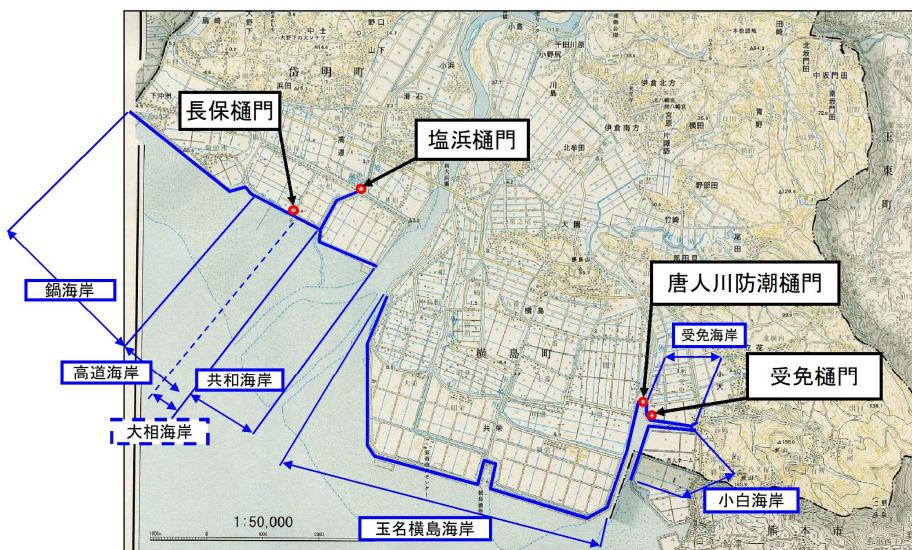
■農地海岸の維持管理(樋門前面の堆積土砂の除去・潮遊池掘削、樋門・ゲート補修など)

排水樋門前面に堆積した土砂の除去、潮遊池掘削、排水樋門・ゲート補修など、農地海岸の適切な維持管理により、自然排水機能を確保・維持します。

土砂の堆積状況



土砂の堆積状況



老朽化の進行状況



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■水田の貯留機能向上（田んぼダムの取組等）

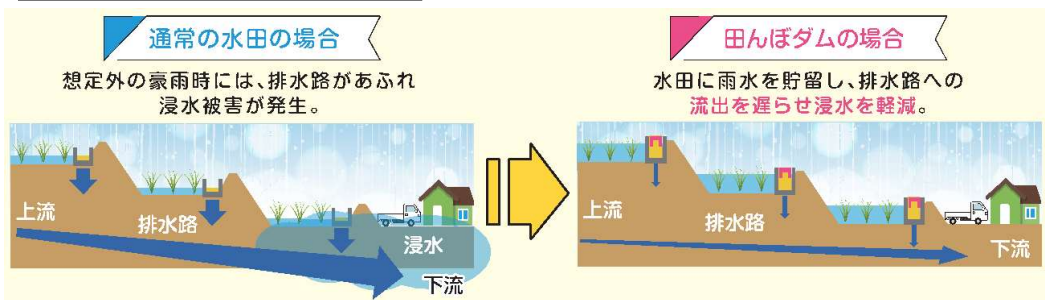
人吉・球磨地域での田んぼダムの効果検証において実証された有効性を踏まえて、機能分離型一筆排水柵、専用せき板の導入の取組拡大を図ります。

○田んぼダムの仕組み

- 水田の排水柵に流出量を調整する専用せき板を取り付けることで、水田に降った雨水を一時的により多く貯留し、時間をかけてゆっくりと排水する仕組みです。



○田んぼダムに期待できる効果



排水柵に専用のせき板を取り付けるだけで、簡単に取組むことができます。

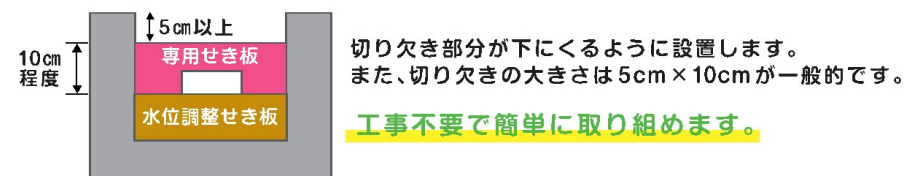


設置方法

POINT!

- 専用せき板は水位調整せき板の上に設置します。
- 排水柵及び畦畔の天端より5cm以上は低く設置をお願いします。

※排水柵及び畦畔の天端と同じ高さで設置すると、大雨時に畦畔から越水し、畦畔崩壊などの危険があります。



農作物への影響

県の実証実験では専用のせき板を設置した場合においても、水稻や畑作物の収量等には特段の影響がないことが分かりました。

新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■ 気候変動を踏まえた確率降雨強度の見直し

昨今の地球温暖化等の気候変動を踏まえ、側溝等の排水施設の設計や開発に伴う調整池の設置における容量に係る構造基準として、計画規模に対応した計画降雨量の設定に用いる確率降雨強度の見直しを行います。

■ 令和8年度の実施内容

熊本県内における確率降雨強度の算定

平成20年6月

熊本県土木部河川課

熊本県における確率降雨強度の算定(H20年6月)

(確率降雨強度見直しの概要)

資料収集・整理

ブロック分割の検討

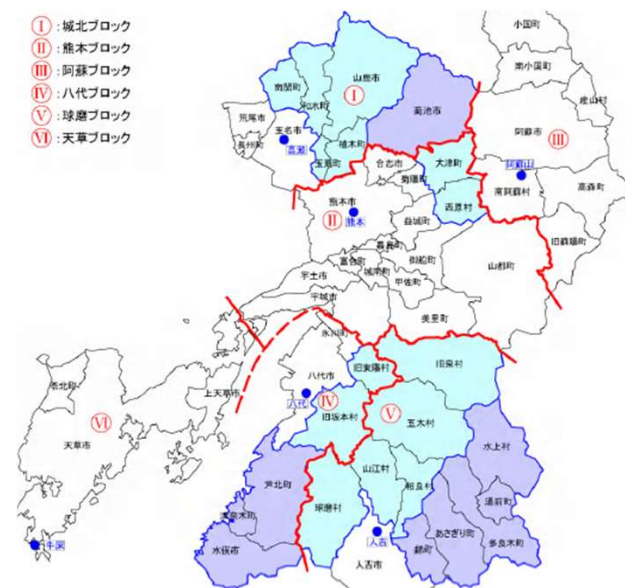
年最大雨量の抽出

確率雨量の算定

確率降雨強度式の作成

適用性の検討

- ① : 城北ブロック
- ② : 熊本ブロック
- ③ : 阿蘇ブロック
- ④ : 八代ブロック
- ⑤ : 球磨ブロック
- ⑥ : 天草ブロック



$$r_{50} = \frac{187.7}{t^{0.731} + 1.24}$$

(確率降雨強度式: 参考)

継続

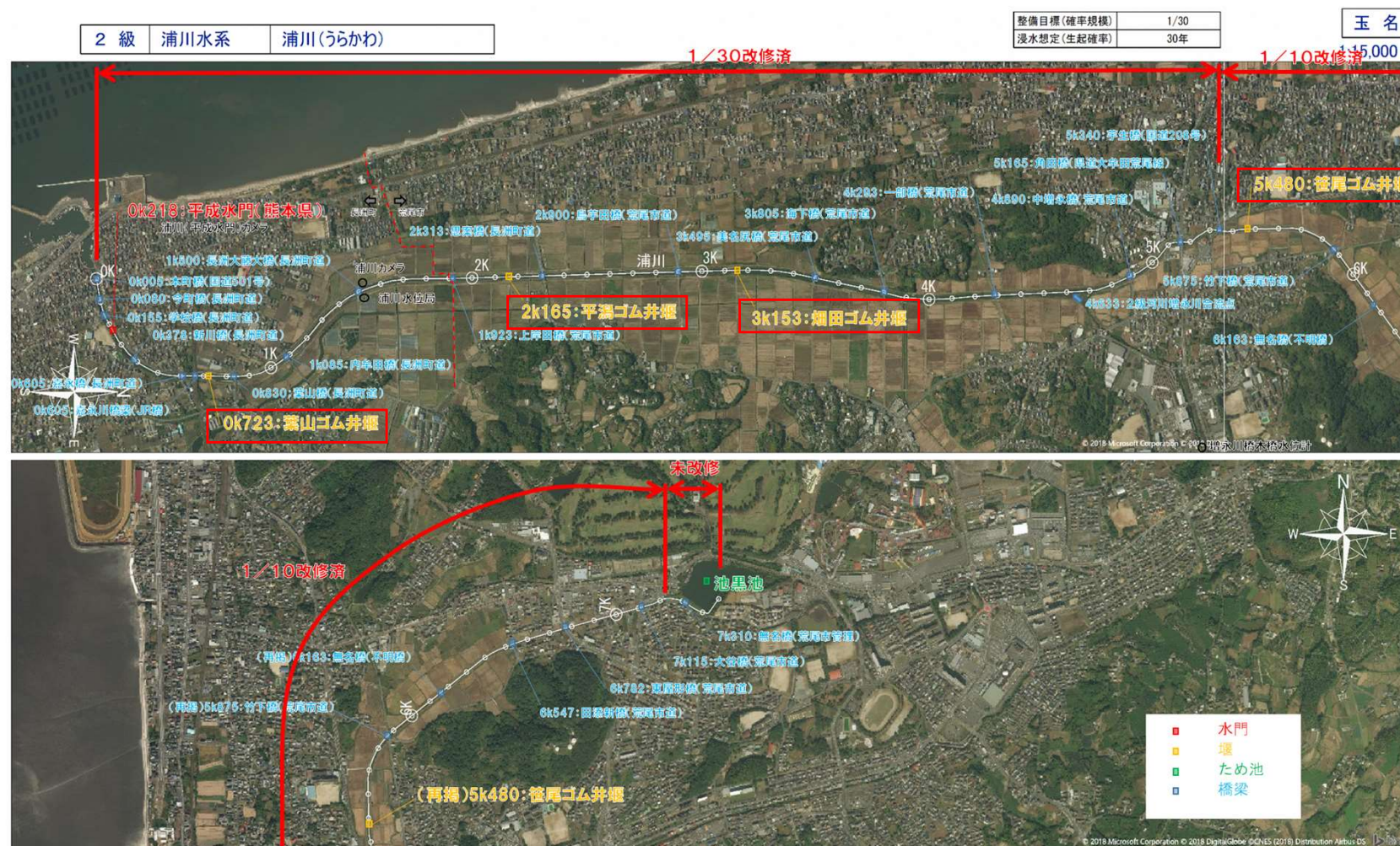
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■河川の貯留容量確保(農業用可動堰の事前転倒呼びかけ)

浦川水系浦川において、河川の貯留容量確保のため、農業用可動堰の事前転倒呼びかけを実施していきます。



継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

- 森林の整備・保全(水源涵養機能等の維持向上)
- 治山施設の整備(荒廃渓流の復旧等)

森林の維持造成を通じて自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、荒廃地等を対象とした植栽及び間伐等の森林整備を行うとともに、令和2年7月豪雨等激甚化する豪雨や台風で被災した管内の治山施設や林地の復旧について、特に緊急性が高い箇所を令和3年度から計画的に実施していきます。

【森林整備】 間伐



【治山】 溪間工



【治山】 山腹工



継続

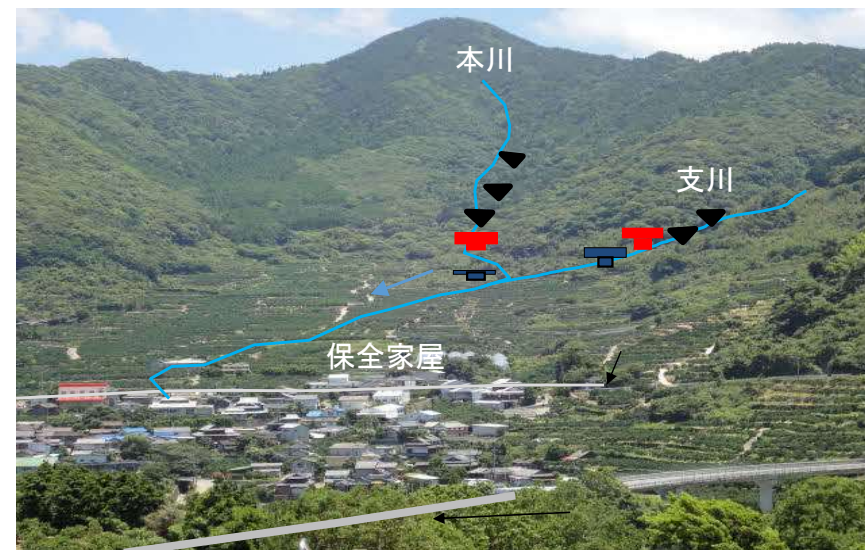
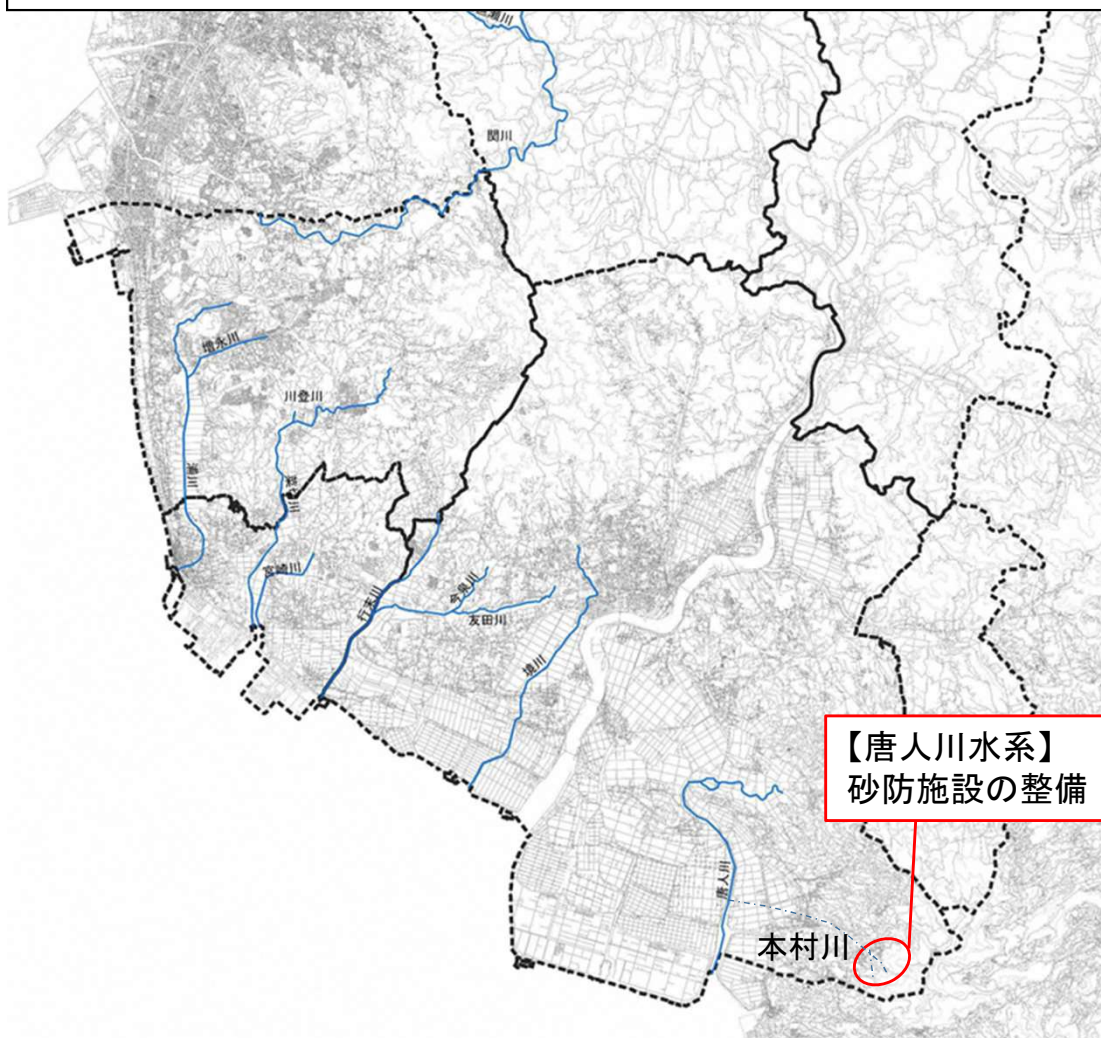
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【熊本県】

■砂防施設の整備

熊本県では、砂防施設を整備することで、土石流による土砂災害を防止し、河川への土砂流出の抑制を図ります。



継続

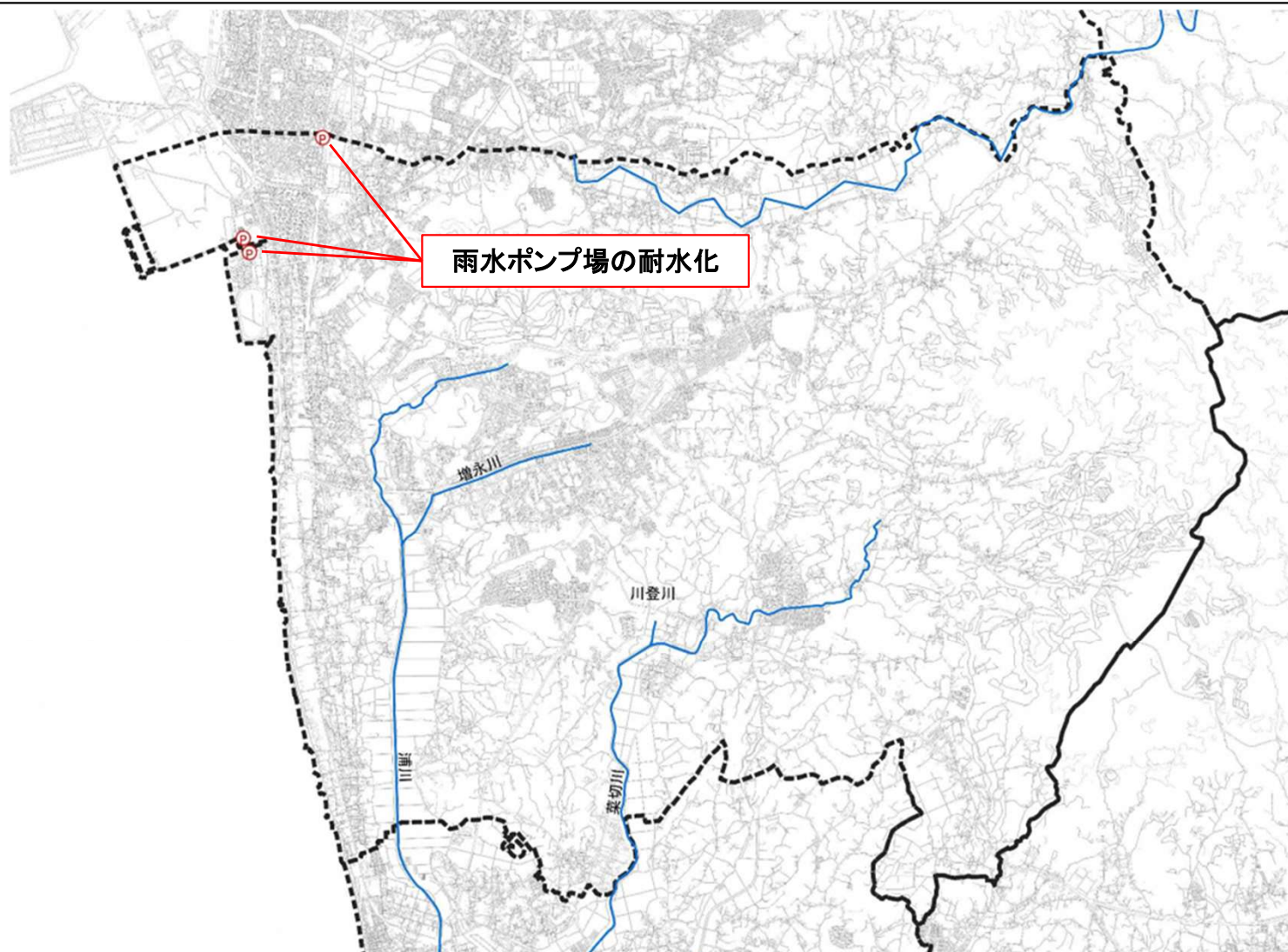
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【荒尾市】

■雨水ポンプ場の耐水化

荒尾市では浸水被害の軽減・早期復旧のための対策として、雨水ポンプ場の耐水化等を実施します。



継続

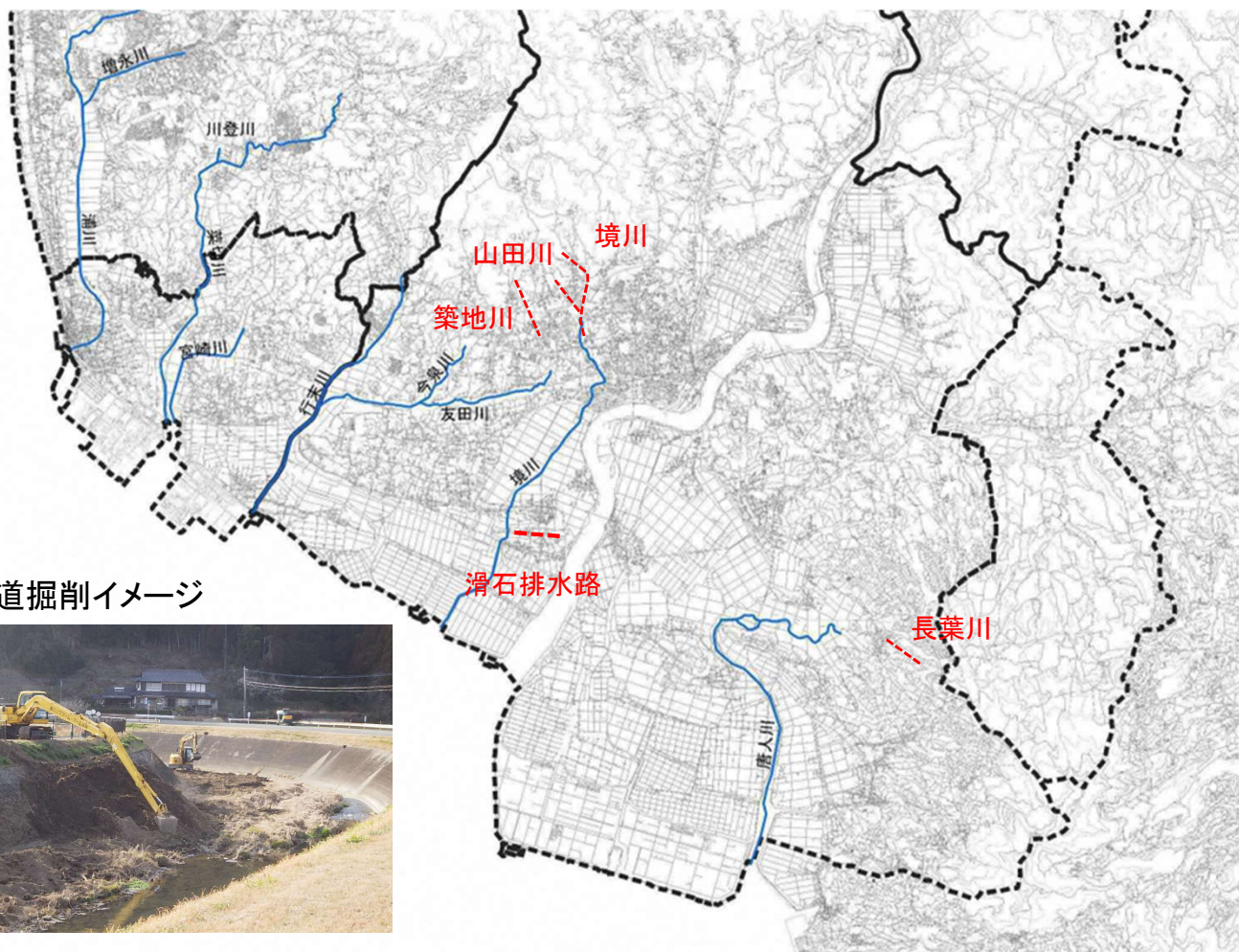
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【玉名市】

■河道掘削

玉名市では浸水被害低減のためのハード対策として、市管理の準用・普通河川における河道掘削を実施します。



【境川】



【長葉川】



新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【玉名市】

■河川改修

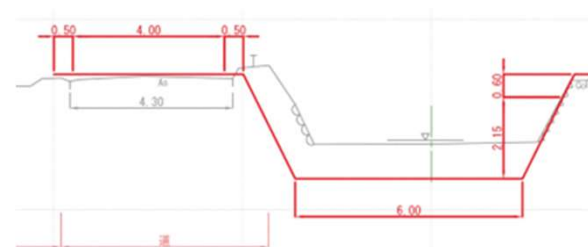
玉名市では浸水被害低減のためのハード対策として、市管理の準用河川における河川改修を実施します。



【境川】



【河川改修イメージ】



新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

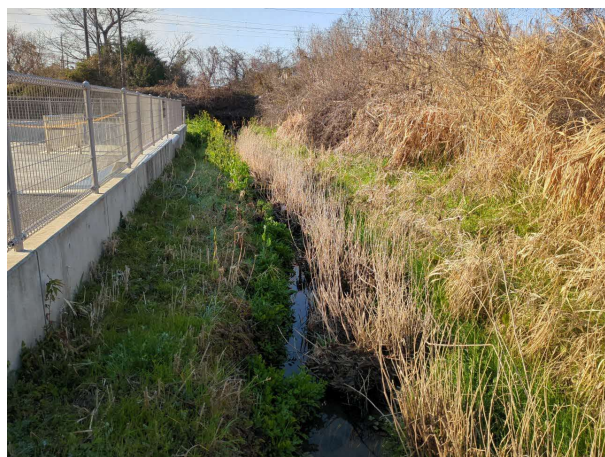
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【玉名市】

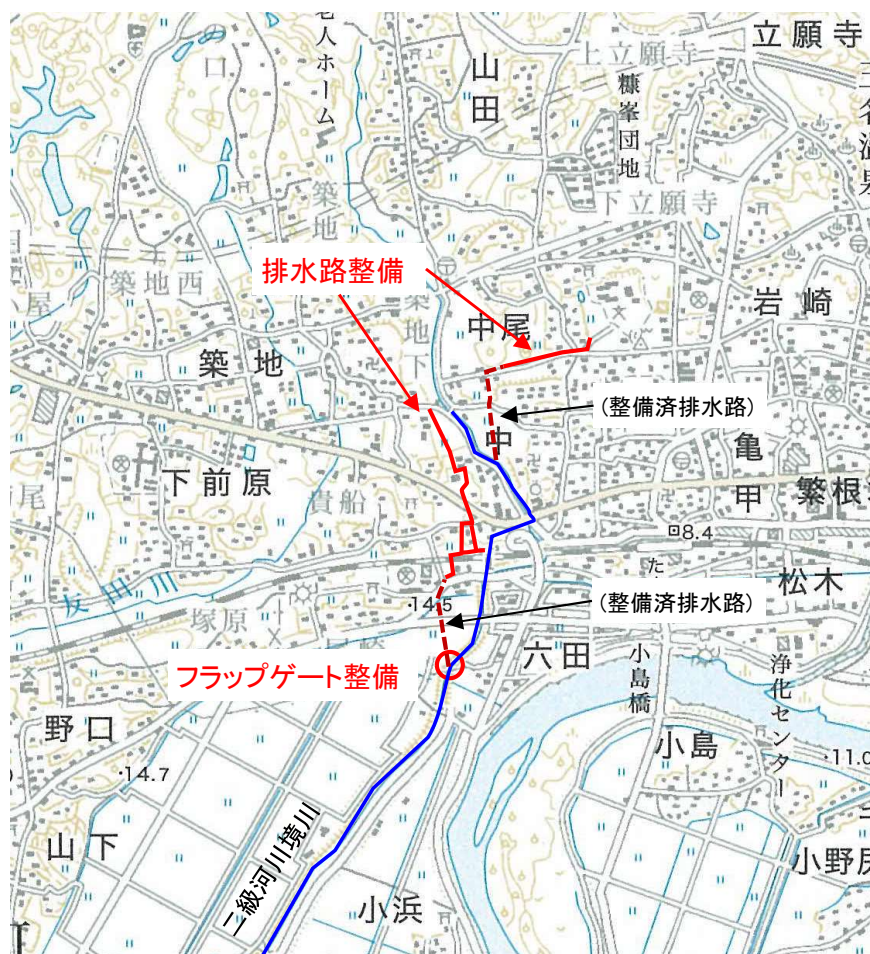
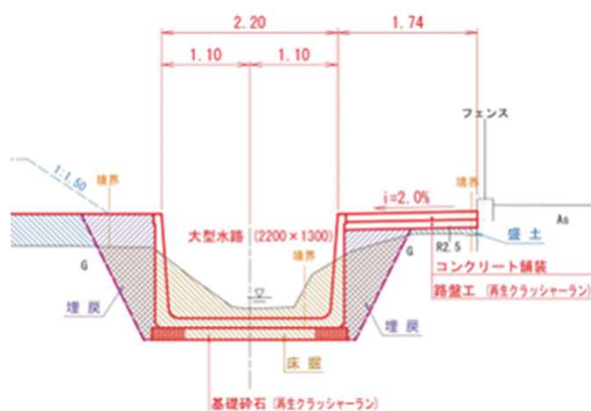
■排水施設整備（二級河川境川水系流域）

玉名市では浸水被害低減のためのハード対策として、市管理の排水施設における整備改修を実施します。

【排水路】



【排水路整備イメージ】



【フラップゲート】



【フラップゲート整備イメージ】



更新

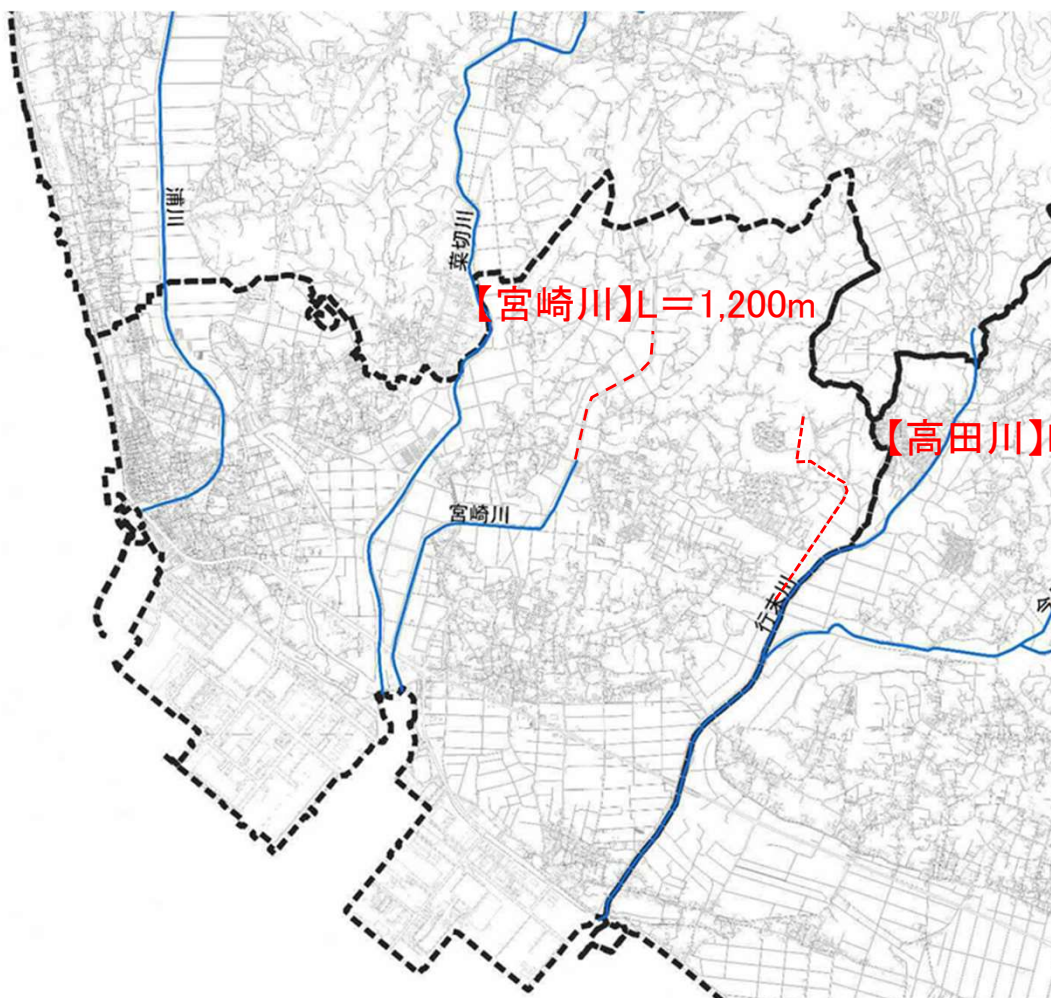
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【長洲町】

■河道掘削

長洲町では浸水被害低減のためのハード対策として、河道掘削等を実施します。



河道横断面図



掘削前状況



河道掘削イメージ



繼續

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【長洲町】

■河川整備

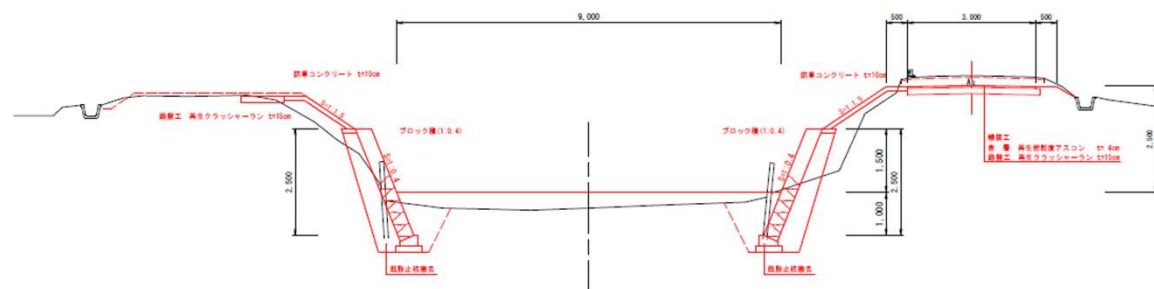
長洲町では浸水被害低減のためのハード対策として、準用河川宮崎川の護岸改修を実施します。

現況写真



護岸改修標準断面図 SCALE=1:50

NO. 9付近



新規

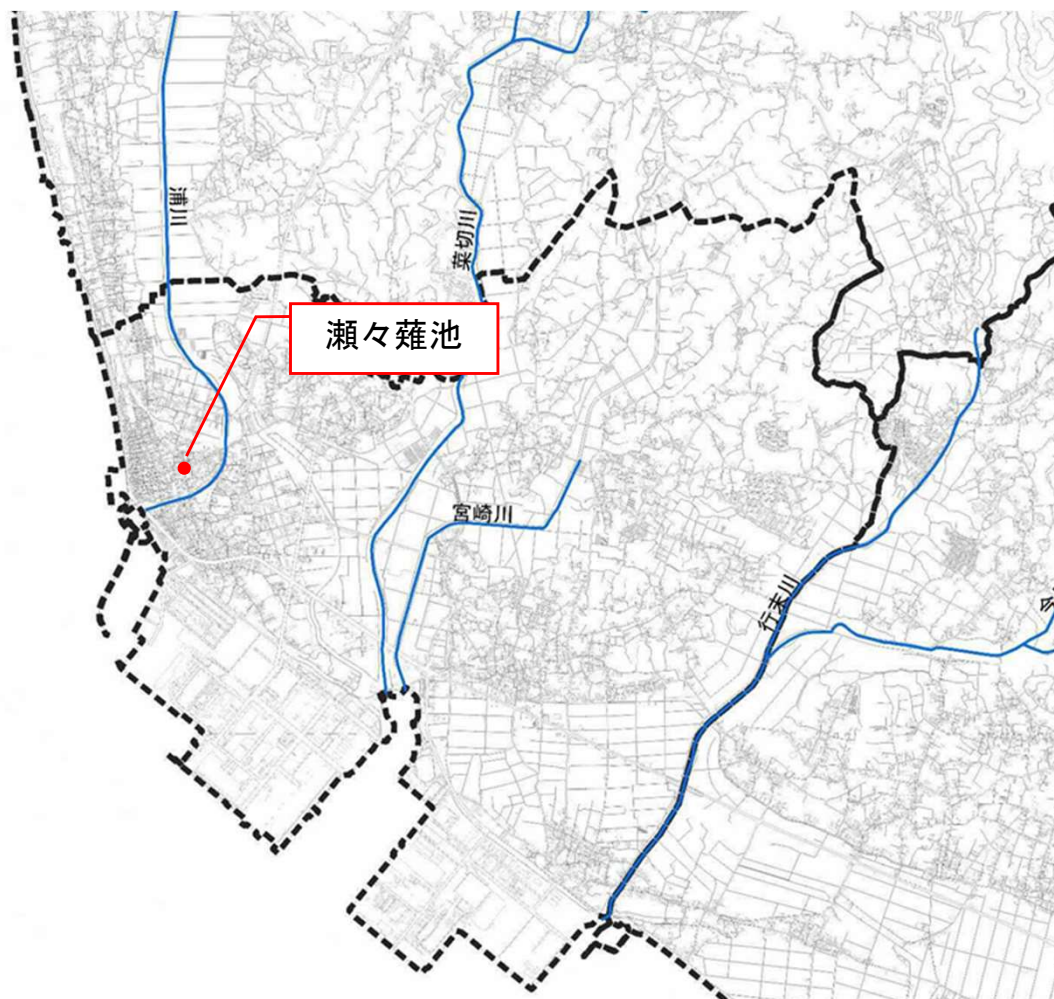
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【長洲町】

■ため池の浚渫

長洲町では浸水被害低減のためのハード対策として、ため池の浚渫を検討します。



浚渫前状況



新規

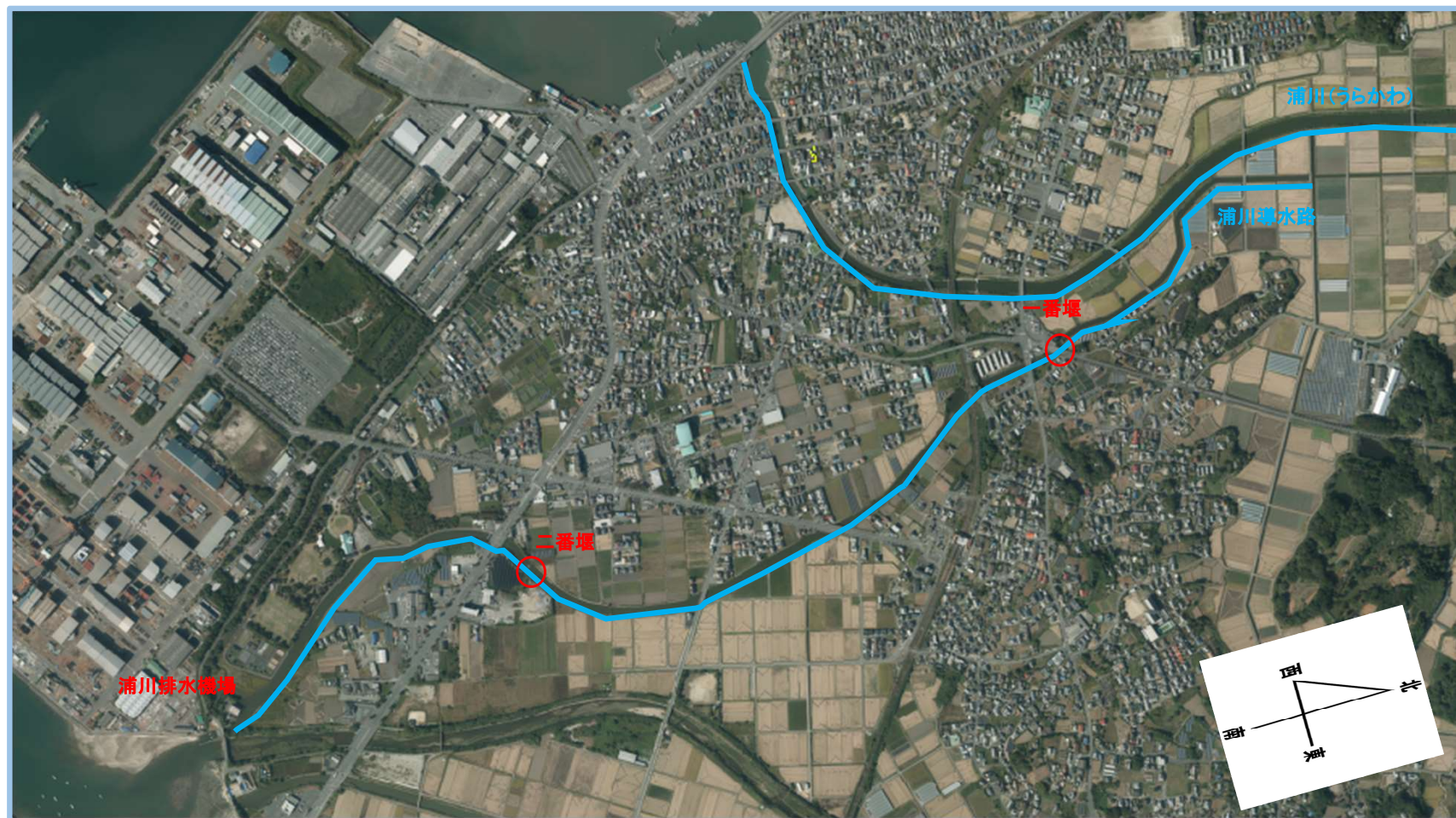
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【長洲町】

■河川の貯留容量確保（農業用可動堰の事前転倒呼びかけ）

浦川水系浦川導水路において、導水路の貯留容量確保のため、農業用可動堰の事前転倒呼びかけを実施していきます。



被害対象を減少させるための対策内容

【熊本県】

■土砂災害警戒区域等の指定

住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。

基礎調査の実施【都道府県】

- ・ 地形、地質、土地利用状況等を踏まえて、区域指定及び土砂災害防止対策に必要な机上及び現地調査を実施（机上で地形図・航空写真等を用いて土砂災害のおそれのある箇所を抽出し、現地調査により区域の範囲を設定する。）
- ・ 基礎調査を基にして、区域指定の案を図示する形でとりまとめ
- ・ 基礎調査の結果を公表（住民の危険性の認識と、指定促進のため。）

区域の指定【都道府県】

土砂災害警戒区域

○土砂災害による被害を防止・軽減するため、危険の周知、警戒避難体制の整備を行う区域

- 警戒避難体制の整備【市町村等】
- ハザードマップの配布【市町村等】
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等【施設管理者】

土砂災害ハザードマップの作成・配布
(茨城県銚田市)



住民の避難訓練状況
(沖縄県浦添市)

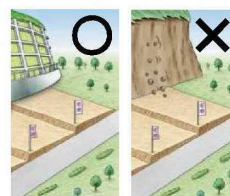


土砂災害特別警戒区域

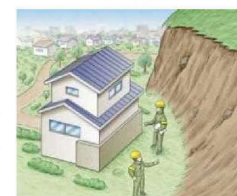
○避難に配慮を要する方々が利用する要配慮者利用施設等が新たに土砂災害の危険性の高い区域に立地することを未然に防止するため、開発段階から規制していく必要性が特に高いものに対象を限定し、特定の開発行為を許可制とするなどの制限や建築物の構造規制等を行う区域。

- 特定開発行為に対する制限【都道府県】
- 建築物の構造規制【都道府県または市町村】
- 建築物の移転等の勧告【都道府県】

特定開発行為に対する許可制



建築物の構造規制



建築物の移転等の勧告

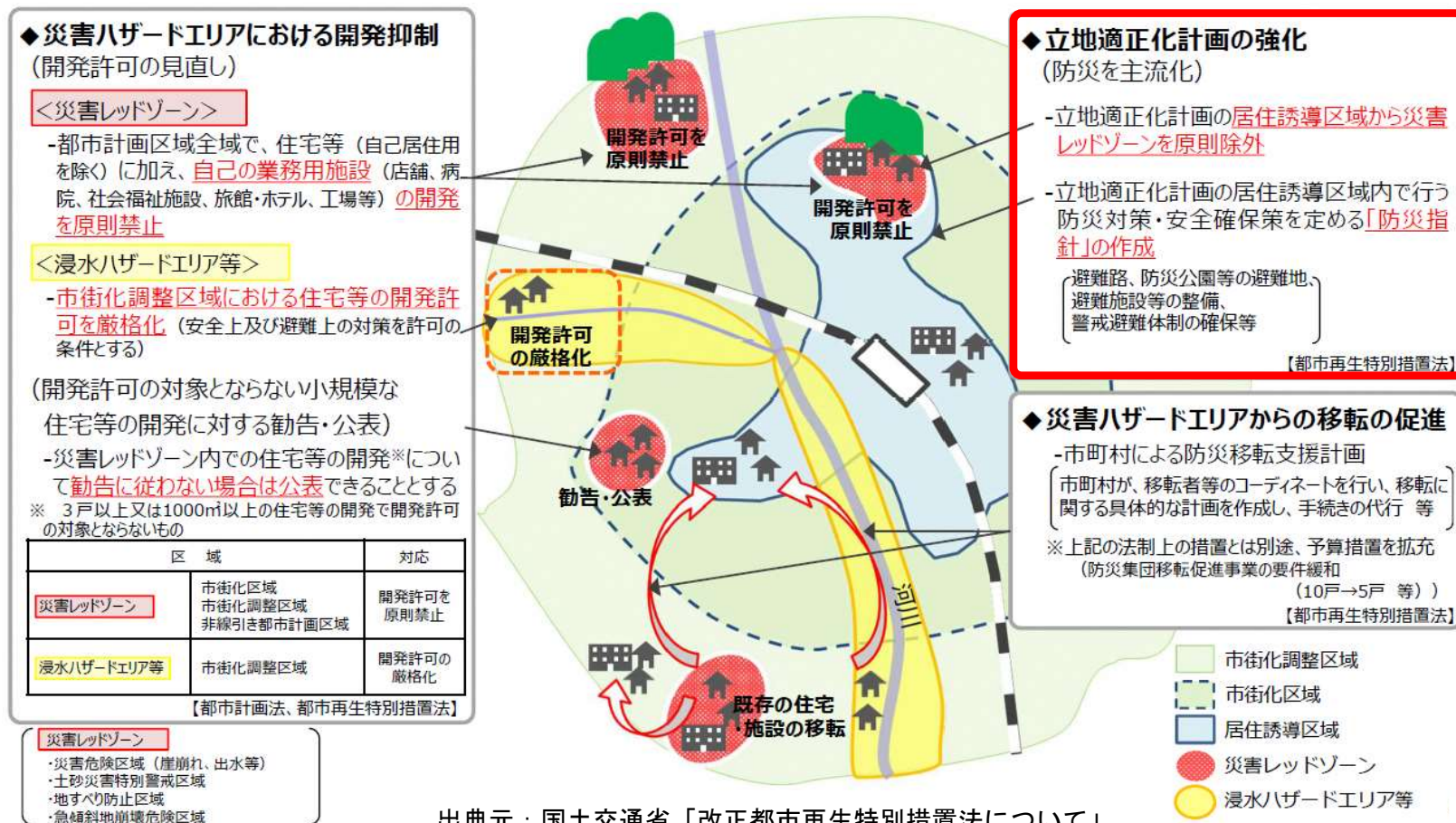


被害対象を減少させるための対策内容

【玉名市】

■玉名市立地適正化計画の運用(防災指針を含む)

- 立地適正化計画(防災指針を含む)に基づく、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
- 災害リスク情報(浸水想定区域等)を活用した居住誘導区域の検討。
- 居住誘導区域内外では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。



継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

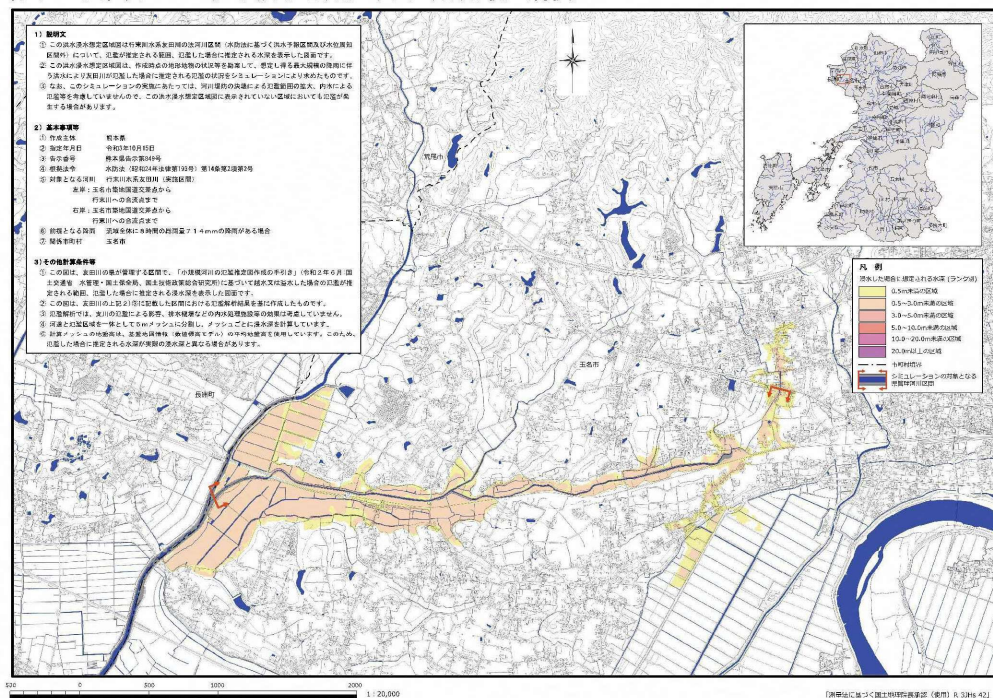
【熊本県】

■洪水浸水想定区域図の作成・周知

○水害リスク情報の空白地帯の解消に向けて、水位周知河川以外の中小河川においても、洪水浸水想定区域図をR4年3月末までに作成します。

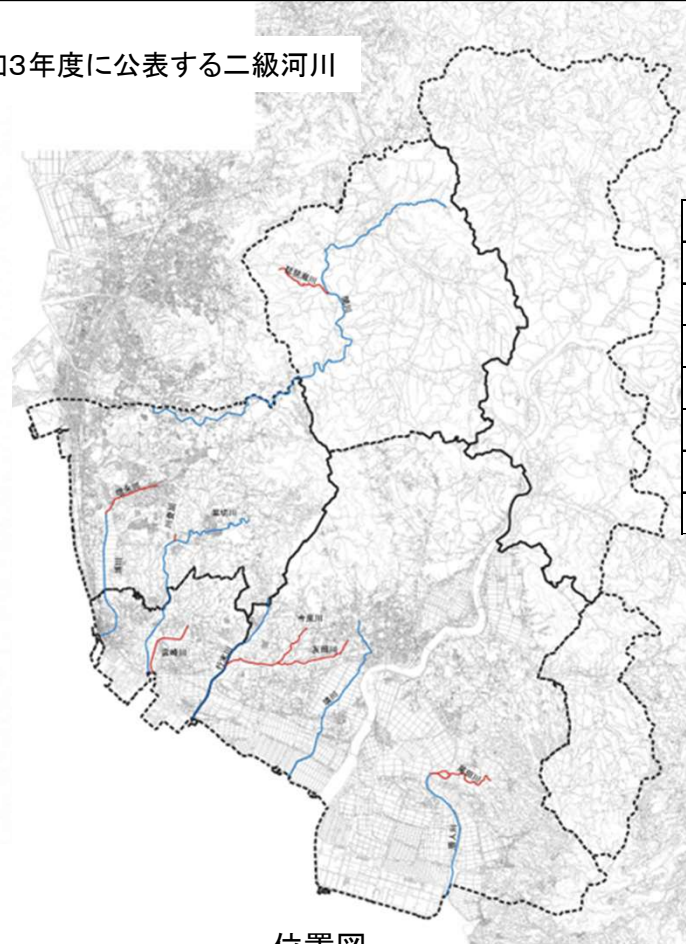
○作成した洪水浸水想定区域図に関しては、県ホームページで公表し住民への周知を図ります。

行末川水系友田川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



洪水浸水想定区域図（想定最大規模）の例

—: 令和3年度に公表する二級河川



位置図

R4.3月末までに作成・公表する対象河川一覧

No	水系	河川名	関係市町
1	行末川	友田川	玉名市
2	行末川	今泉川	玉名市
3	菜切川	川登川	荒尾市
4	関川	琵琶瀬川	南関町
5	唐人川	尾田川	玉名市
6	浦川	増永川	荒尾市
7	宮崎川	宮崎川	長洲町

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

【荒尾市】

■ハザードマップの更新・周知

荒尾市ホームページで公表されている荒尾市総合防災ハザードマップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。



総合防災 ハザードマップ

～防災ブック～





洪水



地震





土砂災害



高潮



津波

大雨、洪水、土砂災害、地震、津波、高潮などの自然災害はいつやってくるかわかりません。
この総合防災ハザードマップを活用し、地域に存在する危険箇所を把握し、日頃の備えと自主防災組織活動に取り組みましょう。

はじめに

「総合防災ハザードマップ」の使い方 1

荒尾市の土地特性と災害特性 2

令和2年7月豪雨の被害状況 3 ~ 4

日頃から災害に備えましょう

～自分で守る(自助)～ 5 ~ 6

～地域で助け合う(共助)～ 7 ~ 8

避難について考えましょう

防災情報を収集しましょう 9 ~ 10

避難行動を考えておきましょう 11 ~ 12

避難所一覧 13 ~ 14

避難所生活について 15

男女共同参画の視点による防災 16

災害から身を守ろう

地震から身を守ろう 17 ~ 18

津波から身を守ろう 19

津波ハザードマップ
高潮から身を守ろう
高潮ハザードマップ 21 ~ 22

ため池の決壊から身を守ろう 23 ~ 24

ため池ハザードマップ
風水害から身を守ろう
土砂災害から身を守ろう 25 ~ 28

洪水・土砂災害ハザードマップ

洪水・土砂災害ハザードマップの使い方 29 ~ 30

洪水・土砂災害ハザードマップ 31 ~ 60

役立つ防災知識

Disaster Prevention for Foreign Residents 61

外国人住民のための防災
知って得するビクトグラム 62

荒尾市防災安全課 令和3年(2021年)2月作成

はじめに

日頃から備える

避難について

災害から身を守る

洪水・土砂災害ハザードマップ

役立つ防災知識

はじめて

避難所について

災害から身を守る

洪水・土砂災害ハザードマップ

役立つ防災知識

新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市】

■内水浸水想定区域図の公表

荒尾市企業局ホームページ上に内水浸水想定区域図を公表予定です。
内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等を周知することで、お住いの地域の特性を理解し、雨天時における早めの対策や避難等の防災行動に繋がる情報を提供し浸水被害の最小化を図る。

取組内容の説明

今回作成したマップは、想定最大規模(153mm/時)の大雨が降った場合と、既往最大(令和2年7月豪雨82.5mm/時)が降った場合の2つのパターンについて、水路や雨水管から雨水が溢れて排除できなくなり浸水が想定される区域予想を示したものです。

項目	内水浸水想定区域図
作業範囲	雨水事業計画区域(公共下水道全体計画区域)1639.8ha
降雨条件	●想定最大規模降雨 : 1時間雨量153mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨 ●既往最大降雨 : 1時間雨量82.5mm ※令和2年7月6日
各種条件	・外水氾濫考慮しない ・河川や海域(吐口)への雨水排除可能 ・運転マニュアルに沿ってゲート及びポンプ稼働
流出解析モデル	詳細モデル (降雨損失+地表面流出+管内水理+氾濫解析+河川統合) ※流出解析結果を構造格子(四角格子)で表現。

公表する内容について

想定最大規模降雨(153mm/h)と
既往最大降雨(令和2年7月豪雨82.5mm/h)の
内水浸水想定区域図を公表予定としています。

継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【玉名市】

■ハザードマップの更新・周知

玉名市ホームページで公表されている玉名市総合防災マップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。



新規

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【玉名市】

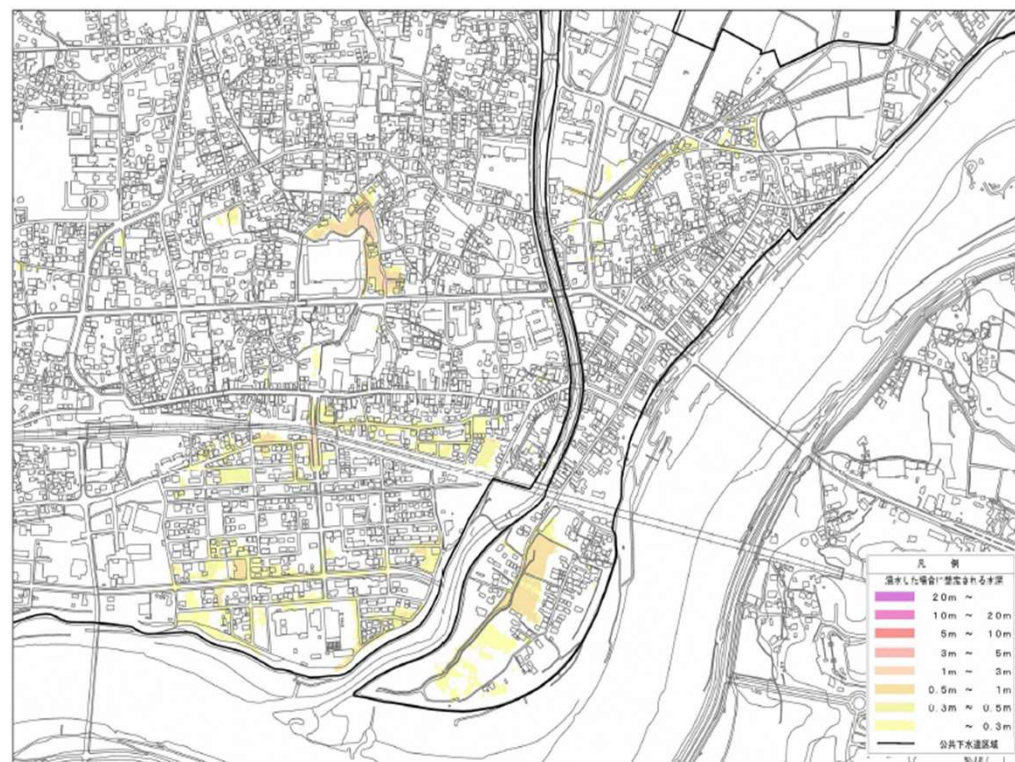
■雨水出水浸水想定区域図の公表

玉名市ホームページ上に雨水出水浸水想定区域図を公表。
内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等、住民の避難や防災行動に繋がる情報を提供することで浸水被害の最小化を図る。

取組内容の説明

今回作成したマップは、想定最大規模の大雨が降った際に、水路や雨水管が雨水が溢れて排除できなくなった場合に浸水が想定される区域

項目	雨水出水浸水想定区域図
作業範囲	雨水事業計画区域(玉名処理区) 828ha
降雨条件	1時間雨量153mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨
河川水位	既往最大降雨時における水位波形を 基に最大水位が各吐口の堤防高にな るように補正 ※外水氾濫は考慮しない
浸水シミュレーションの計算方法	詳細モデル (降雨＋流出＋管きよ＋氾濫) ※降雨損失、表面流出、管内水理、氾 濫解析から一連の解析を実施



繼續

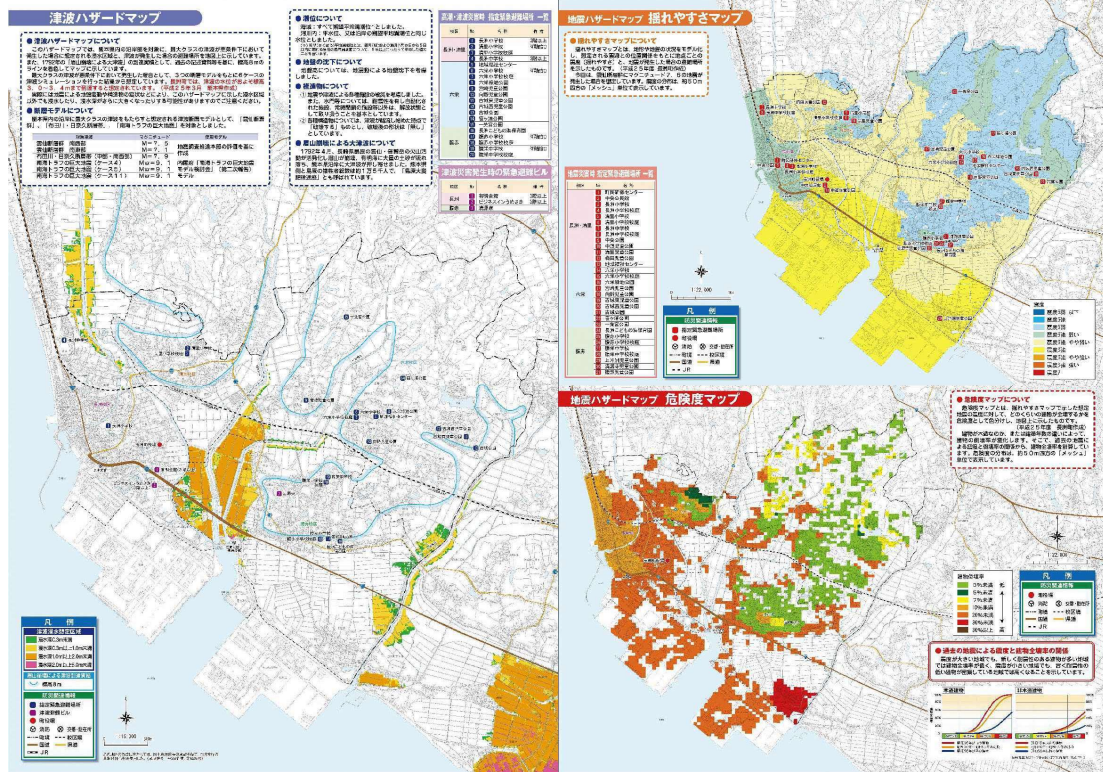
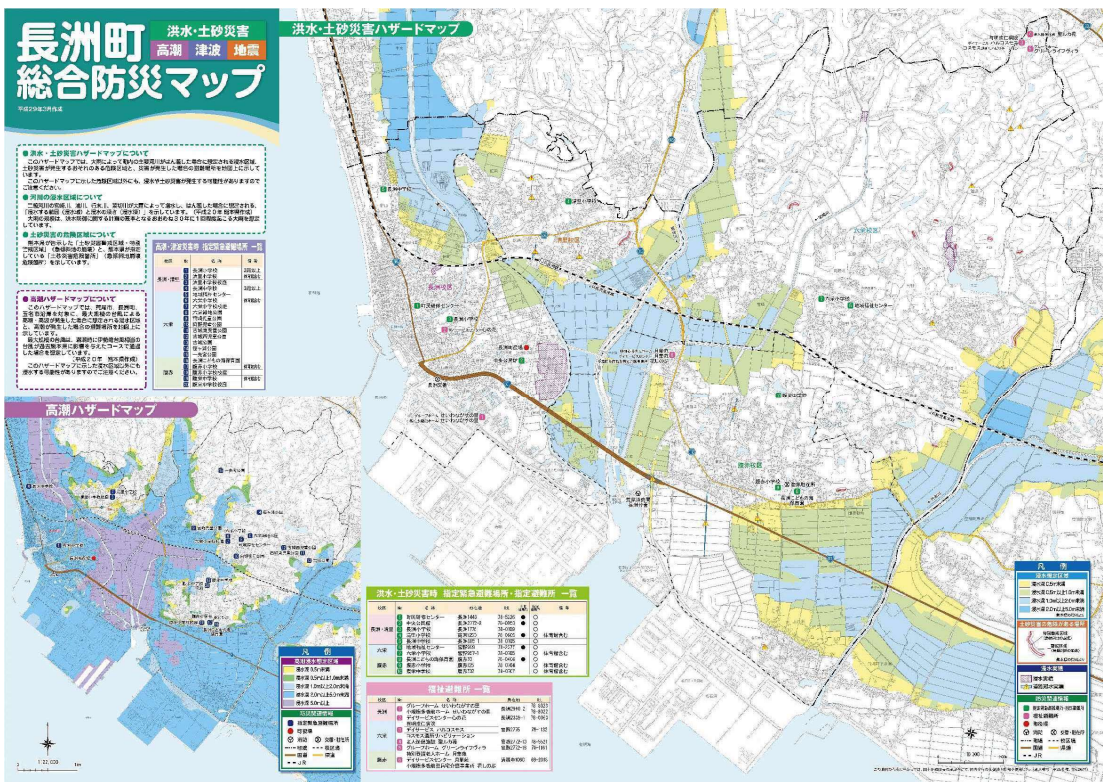
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【長洲町】

■ハザードマップの更新・周知

長洲町ホームページで公表されている長洲町総合防災マップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。



玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

【長洲町】

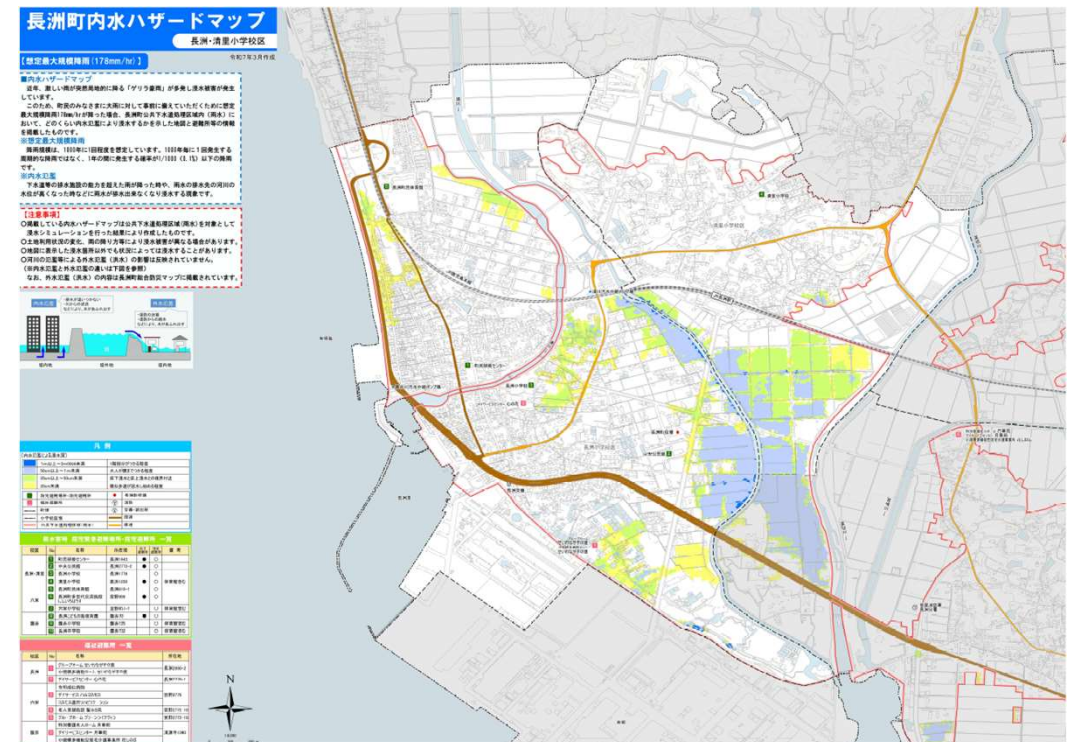
■内水浸水想定区域図の公表

長洲町ホームページ上に内水浸水想定区域図を公表。内水ハザードマップを全世帯配布。(令和7年6月)
内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等を周知することで、お住いの地域の特性を理解し、雨天時における
早めの対策や避難等の防災行動に繋がる情報を提供し浸水被害の最小化を図る。

取組内容の説明

今回作成したマップは、想定最大規模(178mm/時)の大雨が降った場合、公共下水道処理区内(雨水)において、どのくらい内水氾濫により浸水するかを示した地図と避難場所等の情報を示したものです。

項目	内水浸水想定区域図
作業範囲	雨水事業計画区域(公共下水道全体計画区域)670ha
降雨条件	●想定最大規模降雨 : 1時間雨量178mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨 ●既往最大降雨 : 1時間雨量91.0mm
各種条件	・外水氾濫考慮しない
流出解析モデル	詳細モデル (降雨損失+地表面流出+管内水理+氾濫解析+河川統合)



継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市、玉名市、長洲町】

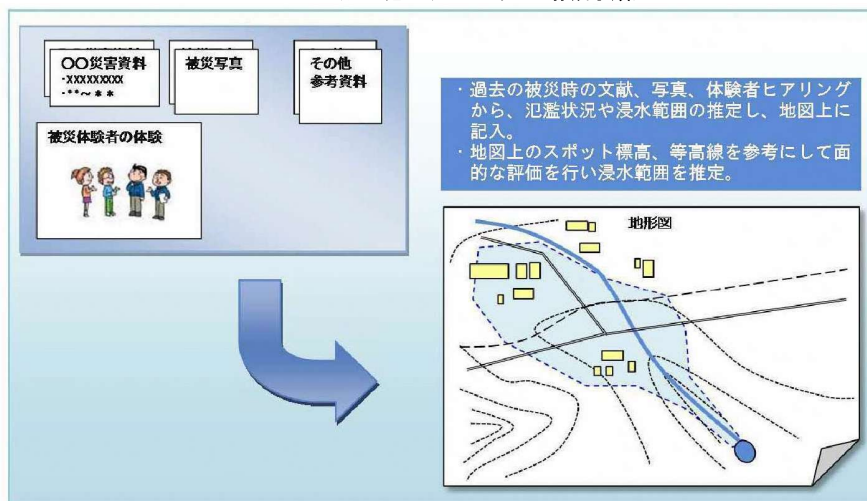
■ため池ハザードマップの作成・周知

万が一ため池が決壊した場合に備えて、迅速かつ安全に避難するための参考資料として「ため池ハザードマップ」を作成します。すでに作成しているため池のマップについては配布・公表し地域の防災活動に活用します。

＜ため池ハザードマップの作成目的の例＞

	地域住民	施設管理者	行政担当者
日常	- 防災意識の醸成 - 避難場所及び経路の確認 - 災害学習会の実施	- 管理及び点検の強化 - 防災意識の向上 - 地域住民との意見交換	- ため池や地域の状況把握 - 連絡体制の確立 - 地域防災計画等への反映
非常時	- 円滑な避難 - 災害情報の正確な把握	- 状況に応じた操作 - 施設情報の正確な把握と連絡 - 予後の点検強化	- 円滑な避難誘導 - 適切な災害情報の発信 - 域外からの来訪者の誘導

＜ため池ハザードマップの作成手順＞



＜ため池ハザードマップの作成事例＞



出典：ため池ハザードマップの作成の手引き

継続

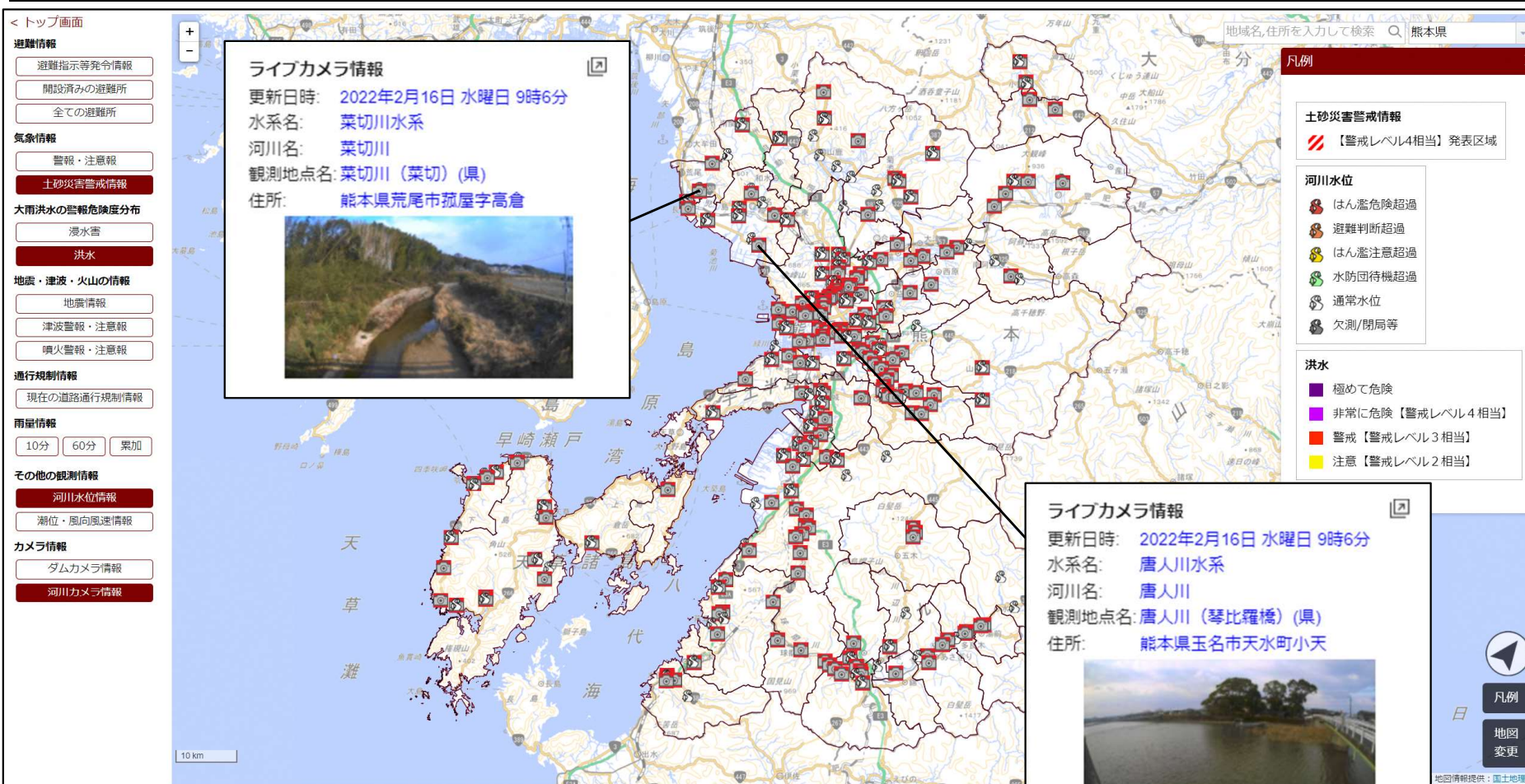
玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県】

河川情報の充実（水位計、河川カメラ）

- 水位計、河川カメラの河川情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。
- 河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。



<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/>

防災情報メールサービスがあなたのケータイへ安心を届けます。

熊本県では、県民の皆さまの携帯電話、スマートフォンやパソコンに県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、地震情報、河川水位情報を配信する『熊本県防災情報メールサービス』を実施しています。

継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町】

- タイムラインの作成、実効性確保
- マイ・タイムラインの作成支援

タイムラインが策定されていない防災関係機関において策定を支援します。
また、住民一人一人が主体的に避難活動を実施できるようにマイ・タイムラインの作成を推進します。



<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline>

マイ・タイムラインは
大雨や台風などの自然
災害から私たち自身を
守るための防災行動計
画です。

あなたと家族の避難
行動をあらかじめまと
めておくことで、いざと
いう時あわてずに避難
できます。

ガイドブックを見なが
ら「5段階の警戒レベ
ル」や「ハザードマップ
(防災マップ)」を確認し
て、シートを作成してみ
ましょう。

くまもとマイタイムラインシート

家族構成	人(一緒に避難: 人)	自宅の災害リスク*
避難先①	避難先の名称(施設など)	移動時間
避難先②		
緊急避難①		
緊急避難②		

わたしと家族の避難行動

【避難訓練】 月 日 訓練に参加

【防災情報】

【避難準備】 裏面の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

【その他】

平時の備え

警戒レベル 1 (2~3日前) 早期注意情報 (情報提供の可能性)

警戒レベル 2 (気象状況が悪くなる) 大雨・洪水注意報 / 氾濫注意情報

警戒レベル 3 発表 時ごろ 大雨・洪水警報 / 氾濫警戒情報 (災害のおそれあり) 高齢者等避難

警戒レベル 4 見込 時ごろ 土砂災害警戒情報 / 氾濫危険情報 (災害のおそれ高い) 避難指示

警戒レベル 5 (災害発生又は切迫) 緊急安全確保

くまもとマイタイムラインシート

【家族の連絡先や行動】 ※避難する時に一緒にいないことも想定して書いてください。

名前	携帯電話番号	自宅以外の主な滞在場所(職場・学校など)	電話番号	もしものときの合流場所・連絡方法など

【避難の準備】 ※あらゆる災害を想定し、日ごろから準備しておきましょう。

① 避難する時の服装

安全で動きやすい服装を一つにまとめておく(寒い時期は、防寒対策も十分に行う)
リュックなどの両手が自由に使える持ちやすいバッグを選ぶ
大雨で道路や歩道が浸水している場合に備えて運動靴を履く(長靴は水が中に入ると歩きにくくなる)

② 避難する時の持ち出し品 ※基本的な品目をチェックし、各自で追加・削除してください。

現金	通帳・印鑑	健康保険証	免許証
懐中電灯/ランタン	乾電池/バッテリー	携帯電話充電器	(ウェット)ティッシュ
飲料水	食料(保存食など)	下着・衣類	靴
防寒着	毛布・寝袋	タオル	眼鏡・コンタクト保存液
薬・お薬手帳	ハブラシ	生理用品	マスク

③ 備蓄品リスト ※基本的な品目をチェックし、各自で追加してください。

保存食	インスタント食品	飲料水	給水ポタタンク
紙皿・紙コップ	ラップ	割り箸	ビニール袋
(ウェット)ティッシュ	タオル	簡易トイレ	

【地震と津波の避難行動】 ※表面(水害)の避難行動のうち「避難開始」以降を中心に参考にする

平時の備え

【防災訓練】 月 日 訓練に参加

【避難先】 地震と津波の避難先を次表の「避難開始」の下にそれぞれ記入

【避難準備】 上記の避難する時の「服装」「持ち出し品」「備蓄品」を準備

いつ起きかわからない 地震発生(強い揺れ)

★3つの安全確保行動(まず低く・頭を守り・動かない)
一緒にいる人の安全確認

発生後 津波や地震活動に備える

＜自宅が壊壊した(損壊するおそれがある)場合＞

○避難開始

避難先: 〆(分)

津波警報・津波大津波の発表

○避難開始(とにかく安全な場所へ)

※津波到達まで時間がある場合は、避難先: 〆(分)

※津波到達まで猶予がない場合は、緊急避難先: 〆(分)

継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【熊本県、荒尾市、玉名市、長洲町】

■要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。

要配慮者利用施設の 避難確保計画

～計画作成をはじめよう～

水防法・土砂災害防止法が改正されました

～要配慮者利用施設における円滑かつ迅速な避難のために～

「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現し、
同様の被害を二度と繰り返さない抜本的な対策が急務

背景

- 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨や平成 28 年 8 月台風 10 号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生。
- 全国各地で豪雨が頻発・激甚化していることに対応するため、「施設整備により洪水を防止するもの」から「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を根本的に転換し、ハード・ソフト対策を一体として社会全体でこれに備える水防災意識と社会の再構築への取組が必要。

H27 年 9 月 関東・東北豪雨



茨城県常陸市 鬼怒川堤防（写真：国土交通省）

H28 年 8 月 台風 10 号

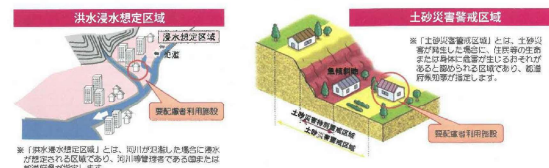


岩手県岩手町 小湊川（写真：国土交通省）

ポイント

洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設※の管理者等は、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務となりました

※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象です。



要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため「水防法」及び「土砂災害防止法」が平成 29 年 6 月 19 日に改正されました。

01 避難確保計画の作成

「避難確保計画」とは、水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における利用者の円滑かつ迅速な避難確保を図るために必要な事項を定めた計画です。

- ▶ 防災体制 ▶ 避難誘導 ▶ 施設の整備 ▶ 防災教育及び訓練の実施
- ▶ 自然水防組織の構築（※水防法に基づき自然水防組織を置く場合）
- ▶ そのほか利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な措置 に関する事項

避難確保計画が実行性あるものとするためには、施設管理者等の皆さまが主体的に作成いただくことが重要です。

作成した避難確保計画は、職員のほか、利用者やご家族の方々も日頃より確認することができるよう、その概要などを共用スペースの掲示板などに掲載しておくことも有効です。

02 市町村長への報告

避難確保計画を作成・変更したときは遅滞なく、その計画を市町村長へ報告する必要があります。

- ▶ 避難確保計画を作成しない要配慮者利用施設の管理者等に対して、市町村長が必要を示す場合があります。
- ▶ 正当な理由がなく、指示に従わないときは、市町村長がその旨を公表する場合があります。

03 避難訓練の実施

避難確保計画に基づいて避難訓練を実施します。職員のほか、可能な範囲で利用者の方々にも協力してもらうなど、多くの方々が避難訓練に参加することで、より実効性が高まります。

ハザードマップを活用するなどして、水害や土砂災害に対して安全な場所へ速やかに避難するなど、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの地域のリスクの実情に応じた避難訓練を実施することが重要です。

避難体制の確認

避難確保計画の作成

職員や利用者への学習会

避難訓練の実施

※（国土交通省ホームページ「自然水防（企業版）」について）掲載のイラストより

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

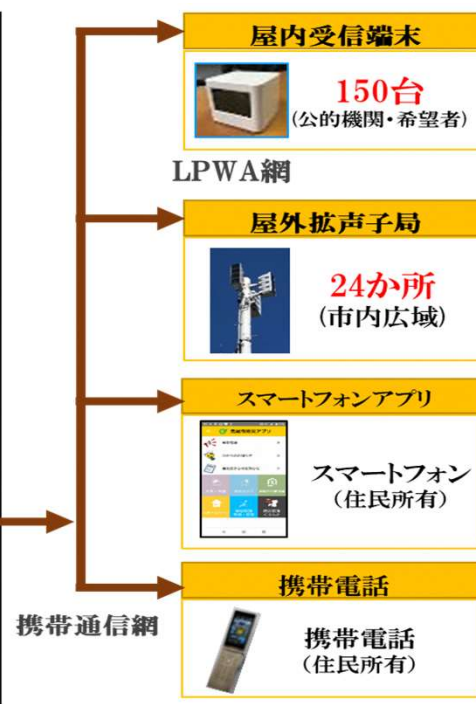
【荒尾市】

■防災情報伝達手段の強化・防災拠点の整備

荒尾市では、市民の皆様の更なる安全で安心な暮らしを実現するため、防災に関する情報を迅速、確実に伝達する防災情報伝達システムの運用を令和3年4月から開始しました。これは、屋外スピーカーや戸別受信機、スマートフォン向けの防災アプリなど、これまでの登録制メールや市のホームページに加えて、複数の手段を用いて、情報を発信するものです。

また、災害対策本部の機能維持など防災拠点の強化維持のため、大規模災害による停電に備え、太陽光発電や蓄電池を整備しています。

凡例	防災情報系	:	
	情報伝達系	:	
	共通利用	:	



【ポータブル蓄電池】



電池容量:5656wh



電池容量:600wh

継続

玉名圏域二級水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【荒尾市】

■避難訓練・防災教育の実施等

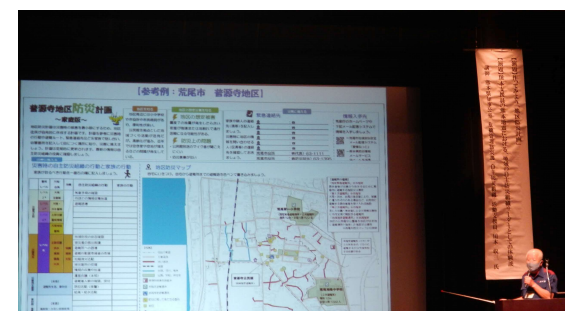
荒尾市では、平成19年から防災関係機関との連携強化等を目的に、自主防災組織など住民が参加して総合防災訓練を行っています。また、地区防災計画の策定支援や出前講座を通じて、ハザードマップやマイタイムラインなどを説明し、住民への防災啓発を行っています。更に、自主防災組織の相互支援体制の強化や行政との連携促進を目的に、自主防災組織連絡協議会を令和4年2月に設立しました。令和3年10～11月には、長洲町と合同で防災士養成講座を行い、地域の防災リーダーの育成を図りました。その他、地域防災力の向上を目的に令和6年8月に荒尾市防災士会を設立を支援しました。



出前講座



要支援者搬送訓練【総合防災】



地区防災計画策定支援



自主防災組織連絡協議会
の設立総会



避難所運営訓練【総合防災】



防災士養成講座